

事務事業名	小中学校ホッケー指導者派遣事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12331									
			所属課室	生涯学習課		課長名	新津 岳									
	☐ 実施計画事業		所属担当	社会体育		担当者名	名取 恵美									
基本政策	基本計画	V個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策	計画	26スポーツ・レクリエーションの振興	事業区分	01	一般	1	0	0	5	0	1	0	3	0	0	3
施策	体系	40スポーツ・レクリエーション活動の推進		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業											
				☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 15 年度）		法令根拠	☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業												
	☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）			☐ 義務化されている協議会等の負担金												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ホッケー競技の普及・継承を目的に、白根地区の小中学校にホッケー指導者(ホッケー協会)の派遣指導を行う。			事業費の主な内訳（22年度）												
				項目(細節)			金額(千円)			項目(細節)			金額(千円)			
				指導者等委託料			1,407									
										計			1,407			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	派遣指導者による放課後ホッケークラブの指導 小学校240時間 中学校520時間
23年度活動予定	派遣指導者による放課後ホッケークラブの指導
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
白根地区小中学校	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
ホッケーを愛好する児童の増加と各種大会で優秀な成績を収める。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
上位組織での活動の継続	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 小学校派遣時数	時間
イ 中学校派遣時数	時間
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 白根地区の小学校	人
イ 白根地区の中学校	人
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア ホッケー愛好児童数	人
イ ホッケー愛好生徒数	人
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 中学校ホッケー部への入部者数	人
イ 高校ホッケー部への入部者数	人

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	1,519	1,407	2,360	2,241	2,360	2,360	
	事業費計 (A)			千円	1,519	1,407	2,360	2,241	2,360	2,360	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30	30		
		人件費計 (B)	千円	134	134	119	119	119	119	0	
		(A)+(B)			千円	1,653	1,541	2,479	2,360	2,479	2,479
	活動指標		ア	時間	160.0	240.0	392.0	392.0	392.0	392.0	
			イ	時間	92.0	520.0	678.0	678.0	678.0	678.0	
	対象指標		ア	人	1,305.0	1,307.0	1,300.0	1,300.0	1,300.0	1,300.0	
イ			人	577.0	564.0	560.0	560.0	560.0	560.0		
成果指標		ア	人	78.0	73.0	98.0	98.0	98.0	98.0		
		イ	人								
上位成果指標		ア	人	17.0	36.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
		イ	人	15.0	15.0	25.0	25.0	25.0	25.0		

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	旧白根地区でS61年のかいじ国体を契機に特色あるスポーツとしてホッケー競技の普及・振興を図ってきた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	対象である小中学生の人数が減少してきている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特に無し

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	NPOに事業の外部委託を行っている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特に無し

事務事業名	小中学校ホッケー指導者派遣事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 市の特色あるスポーツの振興に貢献している。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 NPOに事業委託している。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 白根地区が対象となっているが、広域での普及が図れば良い。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 広域普及の余地があるが、派遣費用が増加する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ホッケー競技に親しむきっかけ作りの機会を失う。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市の特色あるスポーツの振興が出来なくなる。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 指導者の派遣費用であり難しい。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方を見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 NPOに事業委託している。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 白根地区の小中学生のみの派遣となっている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	他地区への拡大を検討してもマイナーなイメージがある。オリンピック等での著名選手の活躍による市イメージ向上経費として現状のまま対応する。 ただし委託金額が百万単位となるため費用対効果やNPO法人の雇用対策等含めて総合的に検討する時期も近いと考えられる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①他地域への拡大																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①社会的なホッケーのメジャー化		成果優先度評価結果	⑫																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					